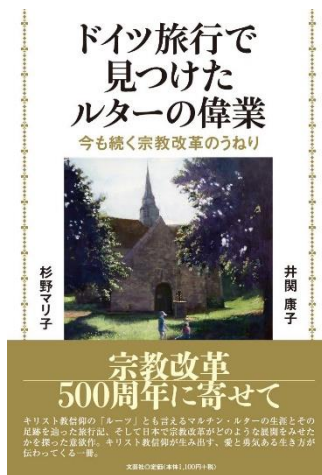
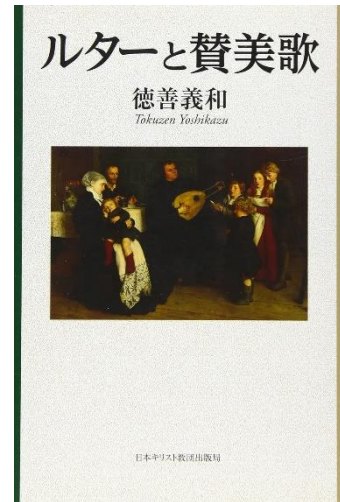
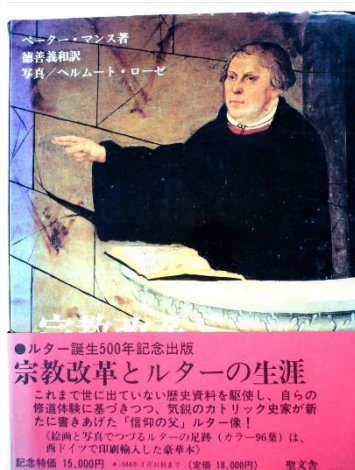


中高図書館通信 **パピルスのかご**

青山学院大学系属
浦和ルーテル学院図書館
【2023年11月】

宗教改革

浦和ルーテル学院のルーテルとは、ドイツの宗教改革者マルティン・ルターの流れを汲む名称です。宗教改革の意味を考え、ルターの精神を共に学んでみませんか。



推薦図書コーナー

この本
イチオシ!



「モッタイナイで地球は緑になる」

ワンガリ・マータイ 著 木楽舎

木を植えることが平和に繋がるとはどういうことでしょうか？
環境に対する取り組みで初めてノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイ。アフリカ人女性として初の受賞者です。彼女がいかに貧しい農村女性を励まし、政治腐敗と戦ってきたか。「グリーンベルト運動」を広め、持続可能な開発や平和な社会作りに貢献してきたか。この本を読めば分かります。翻訳者は青山学院大学教授の福岡伸一先生です。



「すごすぎる色の図鑑」

桜井輝子 監修 kadokawa

身近にある「色」のふしぎ、色が見える仕組み、錯視について、色から受けるイメージについて等「色」を楽しく考えてみる本。
図工・美術・発表に使える配色ポイントや色にまつわるお仕事も紹介されています。



「ふしぎなことばことばのふしぎ」

池上嘉彦 著 筑摩書房

私たちにとっての「ことば」とは日本語です。「ことば」は幼いころから身につけてきたので身体の一部のようになっていて「ことば」を使うことは手足を動かすように自由にできるような気がします。でも、あらためて身近な「ことば」を見直してみると「不思議なこと」もいろいろ見えてきます。



「不毛地帯」

山崎豊子 著 新潮社

戦争中大本營の参謀だった壺岐正は満州でソ連軍に拘留され、シベリアで11年にわたって強制労働を強いられた後、日本に帰国します。その経歴に目を付けた近畿商事社長大門の誘いに応え、商社マンとして第二の人生を歩むこととなります。総合商社における商戦を描いた名作です。

新着本から一部紹介(中高図書委員会が選書)

夏休み最後の日、中高図書委員の有志が須原屋本店にて図書館に置く本を選びました！
須原屋さん担当の方から本の配架について説明を受けています。



実用書から小説まで同世代の目線で様々な分野の本を選びました。
約160冊入りました！

